

保育者養成校におけるピアノ基礎指導教材（１） —『ピアノ基礎練習曲』の作成—

小澤 真美子

Teaching materials for Basic Piano Instruction at Training schools for childcare (1) — Making of “Basic Piano Etude” —

Mamiko OZAWA

キーワード：保育者養成 ピアノ初心者 ピアノ基礎練習曲 バイエル

I. はじめに

保育者養成校である本学のピアノ指導科目「器楽Ⅰ」では、昨年度まで、子どもの歌の弾き歌い教材と併用して『バイエルピアノ教則本』（以下『バイエル』）を教材として採択していた。

『バイエル』は日本において140年以上も使用され続けており、子どもが2年間である程度のピアノ技術を身に付けるために書かれた教則本である。よって、曲の番号が進むにつれて使用する指や手の位置が徐々に広がっていくように構成され、「音階」や簡単な「音楽用語の意味」も記載されており、ピアノ初学者に基礎技術を指導するのに適している部分がある。兵藤（2017）も、『バイエル』で学べる事柄とその順序、『バイエル』全体を学ぶとどの程度のこと学べるかを検証し、ピアノ初心者は『バイエル』をしっかり学べば十分に音楽の基礎が習得出来るという結論に至っている。しかしその一方で、掲載曲の半分以上が左手で弾くパートも高音部譜表で書かれていたり、ハ長調で書かれていたりするため、短期間で子どもの歌の弾き歌いを修得し、保育現場でピアノ伴奏をできる力を身に付ける必要のある学生にとって効率の良い教材とは言い難い。先行研究を見ても、そのことを論じている研究は少ない。

井上（2019）は、『バイエル』の問題点を7つの観点から論じ、それを補う教材として『バーナムピアノテクニック』（以下『バーナム』）と『はじめてのギロック（ビギナーのためのピアノ小曲集）』をはじめとするギロックのピアノ曲集を取り上げ、他の教材との検討も示唆している。また、山路（2020）は、『バイエル』『バスティンピアノベーシックス』『バーナム』『トンプソン現代ピアノ教本』『メトード・ローズ ピアノ教則本・ピアノの一年生』の5つの教則本を、「音符・休符」「調性」「拍子」「強弱記号・標語」「速度標語」「発想標語」「その他に習得できる要素」の7つの項目で比較し、「今後は、保育者をめざす学生が効率よく効果的に学ぶことができる独自のテキストの作成を検討していきたい。」と述べている。

筆者はそれらの先行研究を参考にしながら、保育者養成校学生が効率的に子どもの歌弾き歌いに移行できるピアノ基礎練習曲の作成を試み、今年度の「器楽Ⅰ」において『バイエル』の採択を中止するとともに『ピアノ基礎練習曲』を導入した。

本学「器楽Ⅰ」は常勤講師である筆者と非常勤講師16名の、合計17名で指導している。1学年は6クラスで、1クラスあたり約30名に6名の講師が配属されている。よって、講師1人あたり、およそ2クラスの学生を指導している。

『ピアノ基礎練習曲』の作成にあたっては、前年度に非常勤講師への聞き取りを行い、集約した意見をなるべく取り入れる努力をした。また、年度当初には、学生に向けて作成した「器楽

I」オリエンテーション動画、および『ピアノ基礎練習曲』の模範演奏入り解説動画を非常勤講師へも配信し、『ピアノ基礎練習曲』の特徴と活用方法についての周知を図った。

本論では、『ピアノ基礎練習曲』の構成・ねらい等を述べるとともに、実際にそれが本学でどれほど活用できていたかについて、調査結果等をもとに検討する。

II. 『ピアノ基礎練習曲』の作成

(1) 本学保育科1年生の入学時ピアノ学習状況

まず、本学保育科2019年度～2021年度入学生の入学前ピアノ学習歴は、図1に示す通り、約半数が「全くない～1年未満」であり、2割強は、高校の授業内で経験した学生が多く含まれる「1年以上～3年未満」である。つまり、約7割はピアノ初心者と言えるため、本学では、入学予定者へ向けて冬と春に、入学前スクーリング初心者向けピアノ講座を行ってきた。

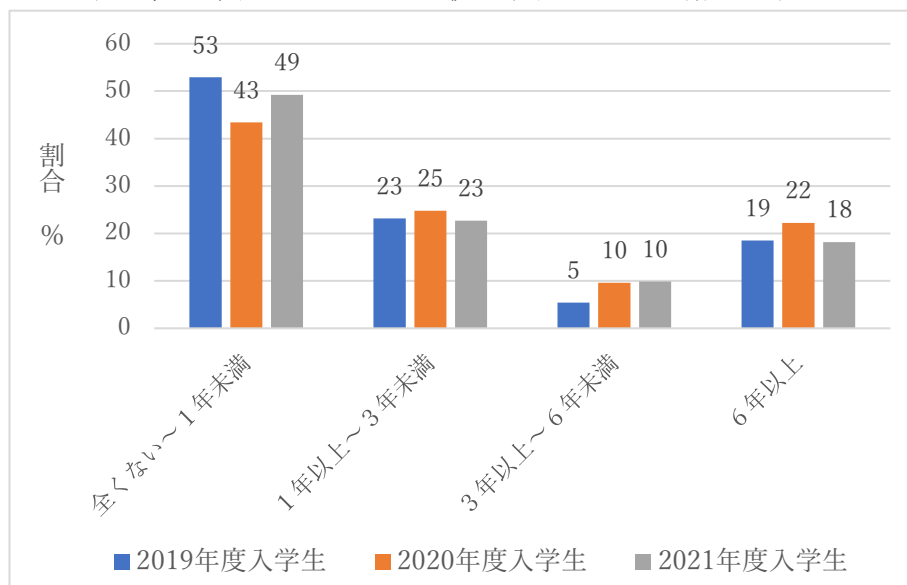


図1 保育科生の本学入学前ピアノ学習歴の割合

しかし、昨年度からコロナ禍での対面では難しいと判断し、【入学前 WEB ピアノ講座】という形で動画配信による講座となっている。動画の内容は、以下のとおりである。

【入学前 WEB ピアノ講座】

- ① 紙鍵盤の作成・使い方
- ② ピアノについて
- ③ 中央のドと音符の位置・楽譜の読み方
- ④ 調性について（ハ長調・ヘ長調）
- ⑤ 指番号について
- ⑥ 「おはようのうた（ヘ長調）」について
- ⑦ 「おはようのうた（ヘ長調）」（初心者用）模範演奏
- ⑧ 「おはようのうた（ヘ長調）」（初心者用）右手の練習
- ⑨ 「おはようのうた（ヘ長調）」（初心者用）左手の練習
- ⑩ 「おはようのうた（ヘ長調）」（既習者用）楽譜解説
- ⑪ 「おはようのうた（ヘ長調）」（既習者用）模範演奏
- ⑫ 「じゃんけんれっしゃ」について

- ⑬「じゃんけんれっしゃ」（初心者用）模範演奏
- ⑭「じゃんけんれっしゃ」（初心者用）右手の練習
- ⑮「じゃんけんれっしゃ」（初心者用）左手の練習
- ⑯「じゃんけんれっしゃ」（既習者用）楽譜解説
- ⑰「じゃんけんれっしゃ」（既習者用）模範演奏
- ⑱「器楽Ⅰ」前期試験について

動画配信にしたことで、入学前スクーリングへの参加が難しかったであろう入学予定者にも、入学前のピアノ練習への取り組みを促すことが可能になった。それにより、ピアノ初心者であっても意欲の高い学生は、ある程度両手で演奏することができる状態で入学してきている。また、入学前に視聴できていない少数の学生に向けては、入学後の「器楽Ⅰ」オリエンテーションにて動画の二次元コードを配布し、視聴を促した。

（２）『ピアノ基礎練習曲』の構成

『ピアノ基礎練習曲』は、音階編（A4 サイズ 1 枚）と小曲編（A4 サイズ 1 枚）からなり、A4 サイズのスクラップブックの左ページに音階編を、右ページに小曲編を貼って使用するように作成した。2 ページという少ない枚数（曲数）にしたのは、2020 年度まで実施していた第 1 回目の『バイエル』授業内試験までの入学からの期間が約 2 ヶ月半であったため、その程度の期間で終了できる内容に抑えたいという意図があった。

音階編には、子どもの歌に使用される 5 つの調、【（１）ハ長調・（２）ヘ長調・（３）ト長調・（４）ニ長調・（５）イ短調】の、両手で弾く上行形音階とカデンツを掲載した。

小曲編には、音階編で掲載した 5 つの調からなる 5 つの小曲、【①すべりだい（ハ長調）・②おくつ（ヘ長調）・③いちごのクレープ（ト長調）・④なかなかおり（ニ長調）・⑤ひとりぼっち（イ短調）】を掲載した。（図 2）

図 2 『ピアノ基礎練習曲』構成

そして学習順については、音階編【(1) ハ長調】→小曲編【①すべりだい】→【(2) ヘ長調】→【②おくつ】→【(3) ト長調】→【③いちごのクレープ】→【(4) 二長調】→【④なかなかおり】→【(5) イ短調】→【⑤ひとりぼっち】とすることで、調性への意識を持たせ、曲中の調号や臨時記号をスムーズに理解させることができるようにした。『ピアノ基礎練習曲』の内容については、表1に示す。

表1 『ピアノ基礎練習曲』の内容と二次元コード一覧

『ピアノ基礎練習曲』 収録曲（学習順）	各曲に入っている内容		
	音楽記号	運指・その他	解説動画コード
(1) ハ長調音階	<ul style="list-style-type: none"> ・速度記号（<i>Molto</i> 記号） ・拍子記号（4分の4拍子） ＊上記2つは音階編に共通する ・強弱記号（<i>mp</i> クレシェント° <i>mf</i>） 	<ul style="list-style-type: none"> ・指くぐり ・指こえ ・四分音符 ・二分音符 ・全音符 ＊上記は音階編に共通する 	
①すべりだい 歌詞 「すべってすべって のぼって すべりだい」	<ul style="list-style-type: none"> ・速度記号（<i>Adagio</i>） ・拍子記号（4分の4拍子） ・強弱記号（<i>f</i>） 	<ul style="list-style-type: none"> ・指こえ ・四分音符 ・付点二分音符 ・全音符 ・八分音符 ・四分休符 	
(2) ヘ長調音階	<ul style="list-style-type: none"> ・調号（♭1つ） ・強弱記号（<i>mp</i> クレシェント° <i>mf</i>） 		
②おくつ 歌詞 「おくつをぬいだら そろえて おきましょう」	<ul style="list-style-type: none"> ・調号（♭1つ） ・速度記号（<i>Andante</i>） ・拍子記号（4分の4拍子） ・強弱記号（<i>mf</i>） 	<ul style="list-style-type: none"> ・指を開く ・指を縮める ・四分音符 ・二分音符 ・全音符 ・八分音符 	
(3) ト長調音階	<ul style="list-style-type: none"> ・調号（♯1つ） ・強弱記号（<i>mf</i> クレシェント° <i>f</i>） 		
③いちごのクレープ 歌詞 「いちごのクレープを たべよう」	<ul style="list-style-type: none"> ・調号（♯1つ） ・速度記号（<i>Moderato</i>） ・拍子記号（4分の3拍子） ・強弱記号（<i>mf</i>） 	<ul style="list-style-type: none"> ・指かえ ・掌を開く ・シンコペーション ・四分音符 ・二分音符 ・付点二分音符 ・八分音符 ・四分休符 	
(4) 二長調音階	<ul style="list-style-type: none"> ・調号（♯2つ） ・強弱記号（<i>mf</i> クレシェント° <i>f</i>） 		
④なかなかおり 歌詞 「けんかしたあと おたがいごめんね あくしゅでにこにこ なかなかおり」	<ul style="list-style-type: none"> ・調号（♯2つ） ・速度記号（<i>Moderato</i>） ・拍子記号（4分の2拍子） ・強弱記号（<i>mf</i> テ°クレシェント°） ・臨時記号 	<ul style="list-style-type: none"> ・音価（<i>タッカ</i>のリズム） ・四分音符 ・二分音符 ・八分音符 ・付点八分音符 ・十六分音符 	
(5) イ短調音階	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時記号（イ短調の導音） ・強弱記号（<i>mp</i> テ°クレシェント° <i>p</i>） 		
⑤ひとりぼっち 歌詞 「くまのぬいぐるみ ひとりぼっち」	<ul style="list-style-type: none"> ・速度記号（<i>Adagio</i>） ・拍子記号（8分の6拍子） ・強弱記号（<i>mp</i> テ°クレシェント°） ・臨時記号（イ短調の導音） 	<ul style="list-style-type: none"> ・スラー ・タイ 	

※注釈：強弱記号の記載について（*p*…ピアノ *mp*…メゾピアノ *mf*…メゾフォルテ *f*…フォルテ）

(3)『ピアノ基礎練習曲』のねらい

本学では、今年度の「器楽Ⅰ」において『バイエル』の採択を中止したが、その際に、子どもの歌弾き歌いの教材だけでは、ピアノや音楽の基礎を体系的に学ぶことが難しくなることが考えられた。そこで、本学学生が効率的に子どもの歌弾き歌いに移行できるよう、1年前期にピアノや音楽の基礎を体系的に学ぶことをサポートする教材として『ピアノ基礎練習曲』を作成した。そこで、1年前期終了時点で『バイエル』によって学習していた内容と、1年次前期試験の課題曲・選択曲（表2）に指定している「子どもの歌」に使用されている調性や拍子等とが、『ピアノ基礎練習曲』で学習できるかどうかについて比較してみた（表3・表4）。なお、表3と表4において、1年前期終了時点での

『バイエル』学習進度を65番としているのは、2019年度入学生までの2回目の『バイエル』授業内試験（2年次6月）において課していた課題がバイエル66番以降となっていたことからである。また、『こどもの歌ベストテン』と『幼児のための音楽教育』の両方に掲載されている曲で異なる調性の場合、その両方を掲載した。

表3では、調性を比較しているが、「こどもの歌」前期試験曲の調は多い順にハ長調（25曲）、ヘ長調（12曲）、ニ長調（7曲）、ト長調（5曲）となっているのにも関わらず、『バイエル』65番までにはヘ長調とニ長調が全く出てこない。それに対し、『ピアノ基礎練習曲』はそれらの調を全ておさえていることがわかる。

表4では、拍子を比較しているが、「こどもの歌」前期試験曲の調で一番多いのは4分の4拍子（21曲）、2番目に多い拍子は4分の2拍子（18曲）、3

番目は4分の3拍子（2曲）と8分の6拍子（2曲）となっている。これに関しては『バイエル』も『ピアノ基礎練習曲』も全ての拍子が含まれている。ただ、短期大学の学生が、実質1年半の短い学習期間で効率的に調性や拍子を実際の演奏を通して理解することに焦点を当てると、『バイエル』の曲数は多すぎるかもしれない。以上のようなことから、短期大学でのピアノ基礎指導の教材としては、『バイエル』よりも『ピアノ基礎練習曲』の方が適切ではないかと考える。

表2 2021年度【器楽Ⅰ】試験曲一覧

2021年度【器楽Ⅰ】試験曲一覧

◎ 使用教材
・「ピアノ基礎練習曲」プリント
・青…「こどもの歌ベストテン」改訂新編
・黄…「幼児のための音楽教育」改訂
・ブ…簡易楽譜（プリント）

◎ 試験について

【前期】

●第16回目：前期 弾き歌い試験

課題曲（3曲）と選択曲（3曲）を仕上げ、当日は、くして引いた課題曲と選択曲を1曲ずつ、1番のみ弾き歌いする。

課題曲		
合格	暗譜	曲名
		おはようのうた（ハ長調）
		じゃんけんれっしゃ
		とけいのうた

選択曲		
合格	暗譜	曲名
		おはようのうた（ハ長調）
		じゃんけんれっしゃ
		とけいのうた

【後期】

●第24回目：コード奏試験

メロディとコードネームの楽譜で演奏する。

合格	暗譜	曲名	青	黄
		以下の3曲から1曲を選ぶ		
		たこの歌	6	
		小ぎつね	6	
		きみとともだちになったなら	7	

●第32回目：後期 弾き歌い試験

課題曲（3曲）と選択曲（3曲）を仕上げ、当日は、くして引いた課題曲と選択曲を1曲ずつ、1番のみ弾き歌いする。

ただし、選択曲Aについては、前期試験で選んだ曲は選択できない。

課題曲		
合格	暗譜	曲名
		はをみがきましょう
		おかえりのうた
		うれしいひなまつり

選択曲（後期）		
合格	暗譜	曲名
		はをみがきましょう
		おかえりのうた
		うれしいひなまつり

選択曲A					
合格	暗譜	曲名	青	黄	暗譜
		あくしゅでこんにちば	15	47	
		おはようのうた	12	35	
		朝のうた		36	
		さよならのうた	20	40	
		せんせいとおともだち	14		
		おべんとう	16	48	
		おてをあらいましょう	17	38	

選択曲B				選択曲D			
合格	暗譜	曲名	青	黄	合格	暗譜	曲名
		チューリップ	24	31			山の音楽家
		ちょうちょう	25	32			やきもちグーサー
		春がきた		33			大きな栗の木の下で
		めだかがのうた	30	34			どんぐりころころ
		こいのぼり	26	43			まつぼっくり
		ブンブンブン		44			もみじ
		おかあさん	29	45			こおろぎ
		すてきなVIVA		53			ちいさい秋みつけた
		かたつむり		51			まっかた秋
		ことりのうた	27				きくのはな

選択曲E			
合格	暗譜	曲名	青
		ロンドン橋（日本語歌詞）	117
		タヤけこやけ	84
		おきなだいこ	95

選択曲C			
合格	暗譜	曲名	青
		むすんでひらいて	52
		うみ	36
		たなばたさま	37
		アイアイ	98
		シャボンだま	38
		おばけなんてないさ	42
		アイスクリームのうた	104
		きらきら星	47
		線路は続くよどこまでも	167
		みずあそび	39
		とんぼのめがね	40
		南の島のハメハメハ大王	41

* 選択曲が全て合格したら暗譜に挑戦し、保育現場での活用に備えましょう。

表 3 調性の比較

調性	2021 年度【器楽 I】 「子どもの歌」前期弾き歌い試験曲 課題曲・選択曲 A・選択曲 B・選択曲 C	『バイエル』 No.1～No.65	『ピアノ基礎 練習曲』
ハ長調	とけいのうた・おはようのうた・朝のうた・さよならのうた・せんせいとおともだち・おべんとう・おててをあらいましょう・たんじょうび・ありがとうさようなら・おもいでアルバム・はじめの一步・春がきた・めだかのがっこう・こいのぼり・おかあさん・すてきなパパ・かたつむり・ことりのうた・かえるのがっこう・あめふりくまのこ・むすんでひらいて・アイアイ・シャボン玉・アイスクリームのうた・とんぼのめがね	No.1～No.31・ No.35・No.36・ No.44～No.55・ No.58・No.59・ No.62・ ハ長調音階・ No.65	(1) ハ長調音階 ①すべりだい
ヘ長調	おはようのうた (ヘ長調)・じゃんけんれっしゃ・おかたづけ・いちねんせいになったら・チューリップ・ちょうちょう・ブンブンブン・手のひらを太陽に・たなばたさま・おばけなんてないさ・きらきら星・南の島のハメハメハ大王		(2) ヘ長調音階 ②おくつ
ト長調	さよならぼくたちのほいくえん・にじ・うみ・線路は続くよどこまでも・みずあそび	No.32～No.34・ No.37～No.40・ No.56・No.57・ No.61・No.63・ No.64	(3) ト長調音階 ③いちごのクレープ
ニ長調	あくしゅでこんにちは・おててをあらいましょう・チューリップ・ちょうちょう・おかあさん・手のひらを太陽に・あめふりくまのこ		(4) ニ長調音階 ④なかなかおり
イ短調		No.41～43・No.60	(5) イ短調音階 ⑤ひとりぼっち

表 4 拍子の比較

拍子	2021 年度【器楽 I】 「子どもの歌」前期弾き歌い試験曲 課題曲・選択曲 A・選択曲 B・選択曲 C	『バイエル』 No.1～No.65 (変奏は除く)	『ピアノ基礎 練習曲』
4 分の 4 拍子	じゃんけんれっしゃ・とけいのうた・さよならのうた・せんせいとおともだち・おかたづけ・いちねんせいになったら・はじめの一步・さよならぼくたちのほいくえん・春がきた・めだかのがっこう・おかあさん・すてきなパパ・ことりのうた・かえるのがっこう・手のひらを太陽に・にじ・むすんでひらいて・アイアイ・おばけなんてないさ・アイスクリームのうた・線路は続くよどこまでも	No.1～No.5・No.7・No.8・ No.11～No.15・No.17・ No.20～No.24・ No.26～No.31・ No.35～No.36・ No.38～No.41・ No.43～No.47・ No.51・No.55・No.58・ No.61・ハ長調音階・No.65	(1) ハ長調音階 (2) ヘ長調音階 (3) ト長調音階 (4) ニ長調音階 (5) イ短調音階 ①すべりだい ②おくつ
4 分の 3 拍子	こいのぼり・うみ	No.6・No.9・No.10・No.18・ No.19・No.25・ No.32～No.34・No.37・ No.42・No.48～No.50・ No.56～No.57・No.60・ No.62～No.64	③いちごのクレープ
4 分の 2 拍子	おはようのうた (ヘ長調)・あくしゅでこんにちは・おはようのうた・朝のうた・おべんとう・おててをあらいましょう・たんじょうび・チューリップ・ちょうちょう・ブンブンブン・かたつむり・あめふりくまのこ・たなばたさま・シャボンだま・きらきら星・みずあそび・とんぼのめがね・南の島のハメハメハ大王	No.16・No.53・ No.54・	④なかなかおり
8 分の 6 拍子	ありがとうさようなら・おもいでアルバム	No.52	⑤ひとりぼっち
8 分の 3 拍子		No.59	

そして、「器楽Ⅰ」で使用している教材に含まれている『幼児のための音楽教育』は、本学保育科1年の「あそびと音楽Ⅰ・Ⅱ」でも、教材の一つとして使用しており、この教材に掲載されている「楽典」（182頁～185頁）については「あそびと音楽Ⅰ・Ⅱ」で一斉指導をしている。よって、「器楽Ⅰ」で使用する『ピアノ基礎練習曲』では、よく使うであろう調の音階と速度記号や強弱記号、演奏に関する記号を指導できるようにした。また、小曲編には保育現場や子どもとの関わりを想像できるような歌詞を付け、学生が小曲に親しみを持てるよう、工夫した。

しかし、毎回の授業の中で学生とマンツーマンのレッスンをできる時間は約15分間と、短い。それに加え、先に述べたように、本学保育科学生の約7割はピアノ初心者である。そのため、各レッスン担当者が音楽記号等の説明をしながら学生の練習状況を確認しアドバイスをするとなると、この『ピアノ基礎練習曲』のレッスンのみで時間が終了してしまい、子どもの歌弾き歌いに全く着手できないまま数ヶ月が過ぎる恐れがあった。そこで、『ピアノ基礎練習曲』のレッスンにあまり時間を取られずスムーズに進むための工夫として、各曲の解説および演奏する手元を撮影した模範演奏の動画を作成してYouTubeにアップし、この動画の二次元コードの一覧表を年度当初のオリエンテーションで学生に配布した。これにより、授業中の対面での説明のみならず、学生が授業外学習として事前に動画を視聴し、内容を把握して練習に取り組むことができるのではないかと、また、授業後の自主練習の際にも授業内容の確認のために視聴することができ、演奏技術の獲得につながるのではないかと考えた。

動画は、【(1) ハ長調「すべりだい」・(2) ヘ長調「おくつ」・(3) ト長調「いちごのクレープ」・(4) ニ長調「なかなおり」・(5) イ短調「ひとりぼっち」】の、全5本で、それぞれ4～7分程度の短時間に収めた。【(1) ハ長調「すべりだい」】の内容を以下に示す。残りの4本も、同じ構成となっている。

【(1) ハ長調「すべりだい」】

- ① ハ長調音階 模範演奏
- ② ハ長調音階 押さえておきたいポイント（図3）
- ③ ハ長調音階 模範演奏
- ④ 「すべりだい」模範演奏（図4）
- ⑤ 「すべりだい」押さえておきたいポイント（図5）
- ⑥ 「すべりだい」模範演奏

図3 動画【(1) ハ長調「すべりだい」】より～ハ長調音階解説部分のスライド

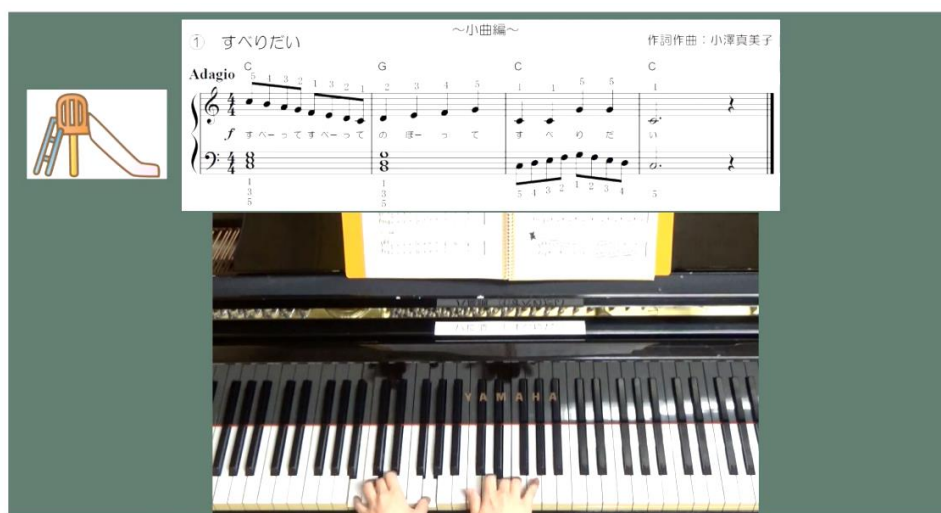


図4 動画【(1) ハ長調「すべりだい」】より～「すべりだい」模範演奏

押さえておきたいポイント

速度記号: アダージョ
(ゆるやかに)

① すべりだい 指こえ

Adagio

f フォルテ: 強く

～小曲編～

作詞作曲: 小澤真美子

図5 動画【(1) ハ長調「すべりだい」】より～「すべりだい」解説部分のスライド

Ⅲ.『ピアノ基礎練習曲』の活用状況

(1)『ピアノ基礎練習曲』に関する調査

筆者を含む「器楽Ⅰ」担当教員17名に、担当学生の入学前ピアノ学習歴と前期終了時の『ピアノ基礎練習曲』進捗状況を調査してもらうとともに、『ピアノ基礎練習曲』に関する意見をつのった。また、学生には入学前ピアノ学習歴と『ピアノ基礎練習曲』前期終了時の進捗状況についての情報を研究に使用することについての説明をGメールで行い、同意の取得をユニバーサルパスポートのアンケート機能を利用して行った。

<調査時期>

① 学生への研究協力依頼と同意の取得

令和3年11月17日(水)～11月30日(火)

② 「器楽Ⅰ」担当教員の『ピアノ基礎練習曲』に関する調査シート提出

令和3年12月6日(月)～12月14日(火)

<回収率>

- ① 学生の同意…183 名中 181 名（98.9%）が同意。
- ② 『ピアノ基礎練習曲』に関する調査シートの回収…17 名中 17 名分（100%）を回収。

<調査結果>

①『ピアノ基礎練習曲』合格・終了状況（前期終了時）

筆者は『ピアノ基礎練習曲』について、2020 年度まで実施していた第 1 回目の『バイエル』授業内試験までの入学からの期間である約 2 ヶ月半で終了する程度のものを想定して作成したが、学生の合格状況を調査するにあたっては、今年度の 5 月（授業 3～4 回分）がリモート授業になったり、6 クラスの回数や期間が揃わなかったりしたことを鑑みて、前期終了時までの状況を調査することにした。具体的には、学習順として示している、（1）ハ長調音階→①すべりだい→（2）ヘ長調音階→②おくつ→（3）ト長調音階→③いちごのクレープ→（4）ニ長調音階→④なかなおり→（5）イ短調音階→⑤ひとりぼっち、のどこまでを前期終了時に終了したのかと、最後まで終了した学生はいつ終了していたのかについて、担当教員が調査シートに記入した。中には、学習順を学生の現状に合わせて変えて指導した教員もあり、「音階のみ」と記入されている学生もいた。その場合は、音階のどこまでいったのが明確ではなかったため、（1）ハ長調のみ終了ということにした。集計する際には、音階も小曲も 1 曲と数え、合計 10 曲中の何曲目まで合格したかを、入学前ピアノ学習歴別に集計した。

まず、合格曲数別の割合については、図 6 に示すように、全 10 曲合格した学生は 34.3%であった。次に多いのは 1 曲合格の 14.9%であるが、これは、「音階のみ」の学生を 1 曲合格として数えていることに起因しており、この 14.9%に入る学生は、実際には 2 曲以上の合格があったかもしれない。その次に多い、0 曲の 11.6 パーセントであるが、図 7 の入学歴ピアノ学習歴別を含む人数を見ると、決して初心者ばかりではないことに気づかれると思う。これは、リモート授業等で時間的余裕がなくなり、『ピアノ基礎練習曲』よりも前期試験に課している子どもの歌弾き歌いの課題曲や選択曲を優先的に指導した教員の担当学生が含まれているためである。この、前期弾き歌い試験課題曲は 3 曲あり、3 曲中 2 曲がヘ長調、1 曲がハ長調であるから、前期終了時までには最低でも『ピアノ基礎練習曲』の（2）ヘ長調音階までは終了してほしいと考える。集計時の曲数で見ると、3 曲目が（2）ヘ長調音階となるのだが、図 6 から、少なくとも 66.3%の学生はそこまで到達していることがわかる。

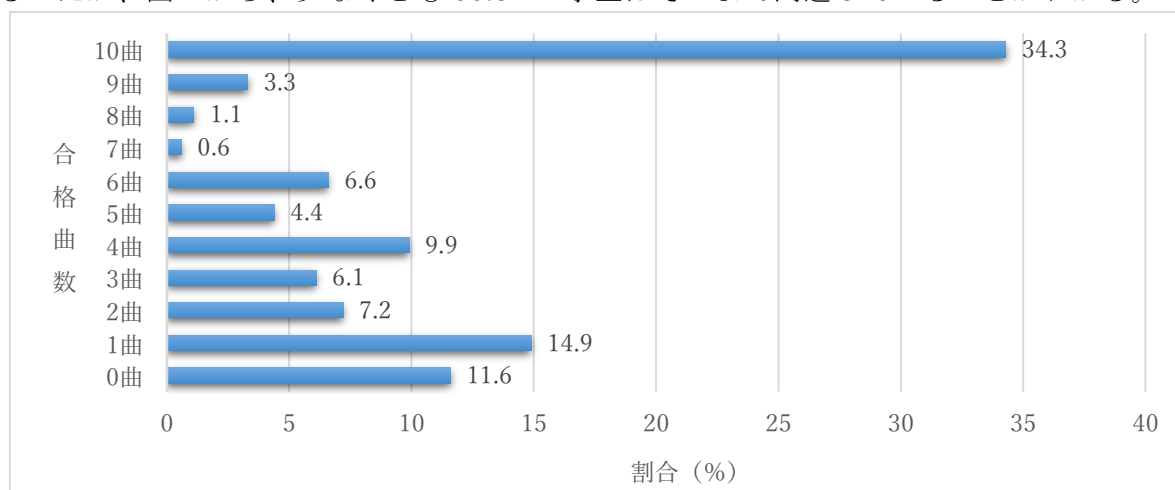


図 6 保育科 1 年生『ピアノ基礎練習曲』前期終了時 合格曲数の割合

次に、全 10 曲合格した 62 名の学生であるが、図 7 を見ると、入学前ピアノ学習歴が長い学生ばかりとは限らず、むしろ、半数の 31 名は、3 年未満のピアノ初心者であったことは興味深い。これは、この学生達の担当教員がきちんと目標設定をし、計画的に適切な課題を与えたり、解説模範動画の活用を促したりした結果であろう。

図 8 は、全 10 曲合格者が何月に終了したかを示したものである。入学前ピアノ学習歴 6 年以上の学生は、入学して間もない 4 月に 10 名（55.6%）が終了している。そして全 10 曲合格者の全体（終了月日の記入されていた 58 名）および入学前ピアノ学習歴：全くない～3 年未満学生のピークは 6 月であり、筆者が『ピアノ基礎練習曲』終了期日として想定した、入学時から約 2 ヶ月半の期間に 55 名の学生が終了している。

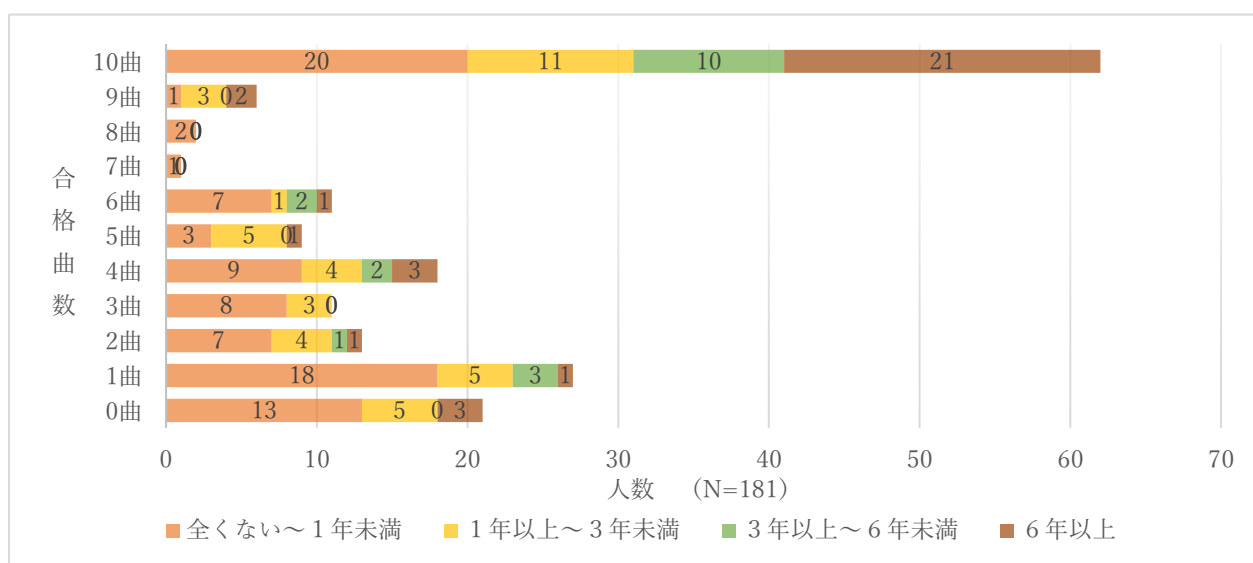


図 7 保育科 1 年生『ピアノ基礎練習曲』前期終了時 合格曲数の人数
(入学前ピアノ学習歴別を含む)

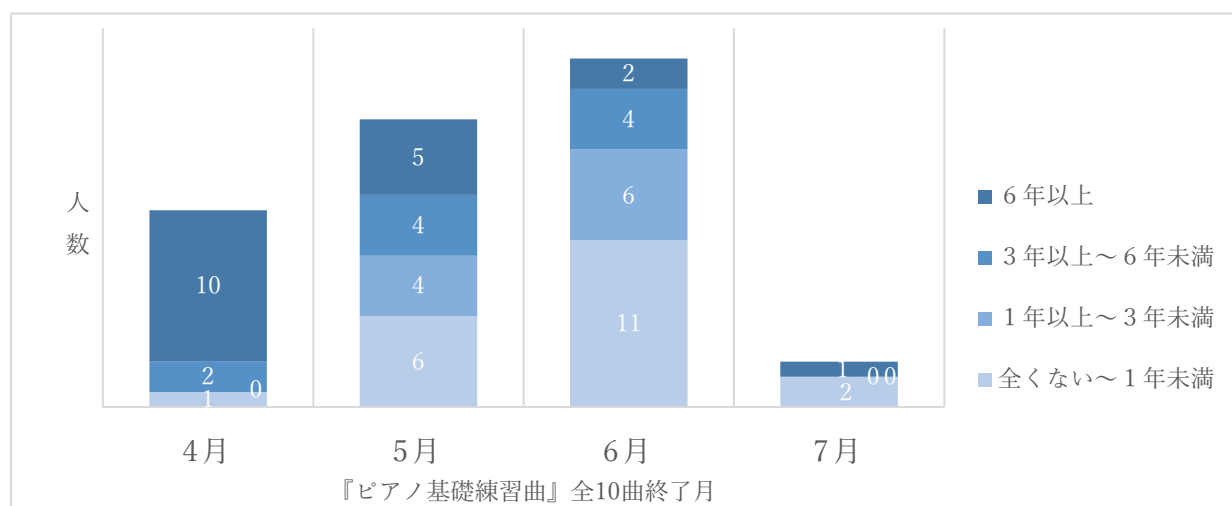


図 8 保育科 1 年生『ピアノ基礎練習曲』前期終了時 全 10 曲合格者 終了月別人数

これらの結果から、181 人中 55 名（30.4%）の学生は『ピアノ基礎練習曲』にしっかりと取り組み、その作成のねらいの通りに、入学時から約 2 ヶ月半の期間で終了することができ

たことがわかった。また、終了した学生の内訳は入学前ピアノ学習歴の長い学生に偏っておらず、ピアノ初心者の学生であっても、入学時から約 2 ヶ月半の期間で『ピアノ基礎練習曲』を終了できた学生も一定数いたことがわかった。

②『ピアノ基礎練習曲』に関する担当教員の意見

担当教員 17 名のうち、作成者である筆者を除く 16 名に『ピアノ基礎練習曲』に関する意見を記入してもらい、回収した。項目は、(1)「器楽 I」に『ピアノ基礎練習曲』を導入して良かったかと思うか、(2)『ピアノ基礎練習曲』やその動画の内容について、(3) その他、の 3 項目としたが、項目をまたいで様々な意見が記入されていたため、集計時に、記入内容に応じて項目別に振り分けを行った。また、ひとつの文章に複数の内容が含まれる場合には、内容ごとに文章を分割した上で分類を行い、表にまとめた。項目 1) と 2) の内容に関するものは表 5 に、項目 3) に関しては表 6 に示す。

項目 1)「器楽 I」に『ピアノ基礎練習曲』を導入して良かったかと思うか、に関しては、「良い」と分類される意見が延べ 11 名で、そのどれもが、筆者が『ピアノ基礎練習曲』に込めたねらいを体現されていることが分かるような内容となっている。意見詳細は、表 5 を参照されたい。そして、「難しい」と分類される意見は延べ 10 名であり、意見の多い順に、「カデンツ（和音）が難しい」（5 名）、「両手で弾く事の難しい」（2 名）、「指くぐりなど指の動きが難しい」（2 名）、「いろんな調の音階を弾くのが難しい」（1 名）など、ピアノ初心者の学生の躓きが挙げられている。

項目 2)『ピアノ基礎練習曲』やその動画の内容については、「良い」と分類される意見のみが記入されており、表 5 の意見詳細に見られるように、「わかりやすい」「丁寧」「良かった」「役に立った」などのワードが多かった。通し No.6～18 の、延べ 12 名は動画や配信についての良さについて述べており、「学生が事前に学べて良かった」や、「学生が何度も見直すことができる」という内容が多かった。

項目 3) その他の意見は延べ 22 名であり、中でも『ピアノ基礎練習曲』に関する提案が延べ 6 名から寄せられた（表 6）。その他には、今年度の状況や授業で感じていること、試験曲に関するもの、学生からの要望、コード伴奏の重要性など、様々な視点からの意見があった。どれも貴重な意見として拝聴し、積極的に取り入れながら改善に繋げていきたいと考えている。

(2)『ピアノ基礎練習曲』解説・模範演奏動画の活用状況

Ⅱ. - (3) で述べたように、『ピアノ基礎練習曲』各曲の解説および演奏する手元を撮影した模範演奏の動画（全 5 本）を作成し、この動画の二次元コードの一覧表を年度当初のオリエンテーションで学生に配布し、学生がいつでも視聴可能な状態とした。

それぞれの動画の、2022 年 2 月 9 日時点での再生回数は、(1) ハ長調「すべりだい」: 119 回、(2) ヘ長調「おくつ」: 154 回、(3) ト長調「いちごのクレープ」: 130 回、(4) ニ長調「なかなかおり」: 103 回、(5) イ短調「ひとりぼっち」: 140 回であった。保育科 1 年生の学生数と「器楽」教員数を合わせた 200 弱の数に対し、どの動画も 160 回を下回っているため、それほど活用されていないことが分かる。また、YouTube の機能（アナリティクス）から、模範演奏の部分のみ、視聴率が 100%以上になっており、解説部分は 12～30%となっていることが分かった。このことから、活用した学生にとっても使用しづらい動画であったことが想像される。この反省点を活かし、次年度からの動画作成の際には、内容や構成等を考えていきたい。

表5 『ピアノ基礎練習曲』に関する担当教員の意見（項目1. 2.）

項目	分類	通しNo.	意見詳細
1) 『ピアノ基礎練習曲』を導入して良かったと思うか	良い	1	教材の導入はあって良いかと思う。
		2	初心者が曲を始める前に鍵盤の位置を把握するのにとても助かっていた。
		3	対面と遠隔合わせて実質6回の授業で全曲合格になった学生が多かった。
		4	導入して良かった。しかし、ピアノ経験者はよいが、初心者はなかなか進まなかった。
		5	内容が充実していたので、弾き歌いに対応させながら効果的に進めることができて良かったと思う。
		6	バイエルを使わなくなった今、それに替わる基礎を学ぶ教材として、この導入はとても良かったと思う。
		7	ピアノ技術の基礎を学ぶためには非常に良い。
		8	ピアノの基礎的なことで、導入は良かったと思う。
		9	ピアノの基礎を練習、確認できて良かったと思う。
		10	良かった。調性の違いがプリント1枚ですぐ見比べられ、学生の理解に大いに役立った。新しい曲に挑戦する時も、この調でこの和音が使われているということを振り返ることが出来、なじみ易さを強調できた。
		11	良かったと思う。期限を目標に練習してもらうことによって、学生が必然的に自ずと練習時間をしっかり確保できたようである。その流れで課題曲の練習につながれて良かった。
	難しい	1	一部の初心者や紙鍵盤で練習している学生にとっては音階が両手で弾けても和音の部分が両手で弾けずに合格できない学生もいた。
		2	音がわからず、指を動かすのも大変な学生にとっては少し難しいのではないかな。
		3	音階の部分はなんとか弾けても、カデンツはかなり時間がかかった。
		4	音階の指くぐりが、初回からは困難な学生もいた。
		5	初心者が多く、途中でZOOMにもなった為、導入は難しく感じた。
		6	初心者には、右手だけでも「あり」かなと思った。
		7	初心者にはカデンツが難しく、レッスンもオンラインになり、試験曲の弾き歌いの方に進ませた。
		8	初心者の学生にとっては、いろんな調の音階を弾くのは難しいと思った。
		9	初心者にとって両手で音階を弾くことが難しい場合も多く（とくに指かえ）、カデンツを弾く（和音をつかむ）ことも難しく、時間がかかる。こうしたことの解決のため、来年度はもっとせっかくの動画をうまく活用するなど、さらに努力していきたい。
		10	ピアノ初學者の学生にとってはカデンツが難しい。
2) 『ピアノ基礎練習曲』とその解説動画について	良い	1	『ピアノ基礎練習曲』は必要な要素がコンパクトにまとめられていてとても良いと思う。音階が曲にうまく取り入れられていて、また、小曲のタイトルと曲のイメージも合っていて、技術の基礎と共に表現についても学べる良い教材だと思う。
		2	学生にとっては分かり易く、手助けになったと思う。
		3	調性ごとの解説やポイント等、非常にわかりやすい。
		4	わかりやすくて良かったと思う。
		5	基礎練習曲は教材としてはとても良いものだと思う。
		6	学生によっては動画がかなり参考になったと思う。
		7	初心者の学生は何度も見て勉強していたみたいで、良かったと思う。
		8	動画の配信は初心者の学生には特に心強く、器楽（ピアノ）に対する意欲が高まり、動画は何度も見直すことができて、スムーズな講義の流れが自然に出来たと思う。
		9	動画もQRコードの採用により、更に使いやすくなってとても良かったと思う。
		10	動画はとてもわかりやすく作られており、週1回（15分程度）のレッスン時間では完全に理解し習得することは難しいと思う内容を、動画だといつでも視聴可能で、学生が必要な時に何度でも見て確認できるので、とても良いと思う。
		11	動画は丁寧に作られていてよかった。ピアノ基礎練習曲もよくつくられていた。
		12	動画はとても丁寧に分かりやすく良かったと思う。視聴していない学生がいるのが残念。
		13	動画はとてもわかりやすかった。
		14	動画や練習曲については、子どもの歌で使用頻度の高い内容が選ばれて学べるようにとても丁寧に作られており、良かったと思う。
		15	入学前に動画を視聴したのは学生にとっては大変良いと思った。
		16	ピアノ基礎練習曲（音階・小曲）ともに、解説も演奏もわかりやすく、細かな指遣いや動きなど、画面を通して観る事で、紙鍵盤しかなかった学生にもしっかりと伝わったと思う。
		17	模範演奏がわかりやすく、動画を見て事前に弾けていたのでとても助かった。
		18	役に立ったという学生もいたので、良かったと思う。

表 6 『ピアノ基礎練習曲』に関する担当教員の意見（項目 3.）

項目	分類	通しNo.	意見詳細
3) その他	練習曲	1	大人のピアノ入門教材(短期のもの)も沢山あるので一考いただければと思う。
		2	課題曲が進まない学生にとっては厳しい「ピアノ基礎練習曲」だった。小曲を選択曲の中から使用できたら(音階の調に合わせて)良いと思った。
		3	小曲は、他の曲の方がよいと思った。(例えば、必須曲とか他の簡単な曲。)
		4	小曲については、出来れば知っているメロディーやレパートリーになりうる曲の中から学べるように考えていただければありがたいと思う。初心者でも知っているメロディならば、練習に取り組みやすくなり、始めて学ぶ内容にも結びつけて練習することで、親しみをもって臨めるのではないかと感じた。
		5	調性について、同時にはピンとこない学生もいた。CFGDぐらいでよいと思う。
		6	ピアノ基礎練習曲の音階編の、カデンツ部分を左手(バス)と右手(アルト・ソプラノ)に分ける方法もある。今後、子どもの歌の曲でも使えるし、コードでも使えると思った。
		7	一部のピアノ初心者は動画を見てもよくわからなかったようで、対面ではない、動画で学ぶ難しさを感じた。
		8	初心者が多いので「楽譜すら読めない」「両手は無理」という事で、対面での個人指導が不可欠だと感じた。
		9	初心者の学生は結構苦戦していたが、頑張っってやり遂げていた。
		10	最近は初心者の学生が多いので、子どもの歌(試験曲)に時間を使った。前期はZOOM授業等が入ったりで、「ピアノ基礎練習曲」が途中のままの学生もいた。
		11	時間がなく、音階を弾くのが精一杯で全曲を終らせることのできなかった学生が多かったことは残念だった。
		12	試験に間に合わせるためにしつつ課題曲中心になってしまった。
		13	「ピアノ基礎練習曲」について任意の教材だと判断して使用しなかった。
		14	ピアノ経験の少ない学生に取り組ませるには難しく、時間もかかったため、結果、子どもの歌を優先し、思うように進めることができなかった。
		15	色々な工夫を指し示してくださり、ありがたい。ピアノに親しみを持つ学生たちがより増えていくことを期待する。
		16	学生からの要望として、「演奏動画のスロー再生の方法が知りたい」、「弾き歌いの方も曲ごとにQRコードを表示してほしい」、との意見があった。
		17	片手でも難しい学生、レッスン経験がなくても割りと弾ける学生を、見極めて指導してることが大切だと感じる。
		18	試験曲一覧の中で「選択曲A」の14曲のうちのわずか2～3曲しか知らない学生がいる。初心者に多い気がするが、知っている曲は難易度が高く、また、知らない曲には取りかかりにくらしく、レッスンが進みづらい時がある。
		19	試験曲6曲だけでもなかなか難しい学生もあり、途中でストップしてしまいました。
		20	それぞれの指導法があって当然ではあるが、1年次に「楽譜に音名を書いてきなさい・・・」と言われて書き込んだために全く音符が読めるようにならなかったという学生を、2年次に引き継いだ。2年次は学生が自主的に音名を消し、(書かずに取り組み、)後期の途中までで、音名を書かずに弾けるようになった。
		21	入学前にピアノ初心者に向けて誰でも知っている子どもの歌を2・3曲、必修課題として渡して練習させると良い。
		22	左手の基本コードだけでも入学前に覚えていれば、伴奏付けが楽になると思う。試験での伴奏付けは大変良いと思う。

IV. まとめ

今回の『ピアノ基礎練習曲』作成にあたって大事にしたポイントは、学生に達成感を感じさせながら指導していけるようにという配慮から、とにかく1曲を短くしたこと(1曲の譜面を1段に収める)と、その短い中に、子どもの歌に出てくる調性・拍子・速度記号・強弱記号・リズム等の要素を多く盛り込んだことであった。しかし、それがゆえに、ピアノ初心者の学生にとって、少々難しい部分があったことは否めない。どんなに良い意図を持って作成したとしても、それが学生にとって受け入れ難い内容だったり、使用されなかったりすれば意味がない。よって、この調査結果をもとに、『ピアノ基礎練習曲』をより使いやすく見直し、来年度のピアノ基礎指導教材として新たな『ピアノ基礎練習曲』を作成したいと考えている。

引用文献・参考文献

1) 兵藤恭子(2017)。「保育者を目指すピアノ初心者が『バイエルピアノ教則本』で学べる事」, 千葉敬愛短期大学紀要第39号, pp.401-415

- 2) 井上基子 (2019) .「保育者・教員養成におけるピアノ教材についての考察ー『バイエルピアノ教則本』の問題点を補う教材の提案ー」, 滋賀大学大学院教育学研究科論文集第 22 号,pp.83-93
- 3) 山路麻佳 (2020) .「保育者養成におけるピアノ演奏技術の習得に関する考察：初心者のための教則本の比較」, 西南女学院大学紀要第 24 号,pp.127-139
- 4) バイエル「全訳バイエルピアノ教則本」全音楽譜出版社
- 5) 板東貴余子「簡易伴奏による こどもの歌ベストテン 改訂新版」ドレミ楽譜出版社
- 6) 神原雅之・鈴木恵津子「改訂 幼児のための音楽教育」教育芸術社

付記

- ・本研究は宮崎学園短期大学研究倫理審査会の承認を受けた（承認番号：2021010）。
- ・本論は、日本保育者養成教育学会第 6 回研究大会で発表した内容を深めたものである。